



# 一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

## 平成29年4月 マンスリー レポート

集計企業数 **55** 社

### ① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	57,257,195 万円	100.0%	103.0% (101.0%)	54,767,128 万円	101.2% (98.9%)
食 料 品	48,513,113 万円	84.7% (84.8%)	103.0% (101.3%)	46,990,096 万円	101.4% (98.9%)
農 産	7,320,016 万円	12.8% (13.0%)	102.4% (102.0%)	7,094,648 万円	100.8% (100.0%)
水 産	4,634,605 万円	8.1% (8.2%)	101.5% (97.9%)	4,485,477 万円	99.7% (95.9%)
畜 産	6,123,557 万円	10.7% (10.4%)	104.1% (101.6%)	5,913,903 万円	102.2% (99.3%)
惣 菜	5,584,494 万円	9.8% (9.9%)	104.6% (102.8%)	5,389,815 万円	102.5% (100.3%)
日配食品	10,682,098 万円	18.6% (18.8%)	102.4% (101.1%)	10,350,876 万円	101.0% (99.3%)
加工食品	14,168,342 万円	24.7% (24.5%)	103.1% (101.4%)	13,755,377 万円	101.9% (98.3%)
生活関連	3,711,192 万円	6.5% (6.3%)	101.7% (100.1%)	3,570,586 万円	100.9% (99.6%)
衣 料 品	1,684,566 万円	2.9% (2.8%)	101.4% (97.3%)	1,534,990 万円	99.3% (96.6%)
そ の 他	3,348,324 万円	5.9% (6.1%)	106.0% (100.5%)	2,671,456 万円	99.5% (98.9%)

### ② 数 値

全店総売上高	57,257,195 万円	店 舗 数	4,605 店舗
総売場面積	9,192,445.4 m <sup>2</sup>	総従業員数	248,403 人

店舗平均月商	12,433.7 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,855.9 円 (99.5%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	6.2 万円 (6.0 万円)	平均店舗面積	1,996.2 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	20.6 万円 (19.9 万円)	パート比率(前月)	77.8% (77.9%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・ 4月の天候環境は、月間の日照時間が多かったが、数日の周期で天気が変わり西日本で降水量が多くなった。気温は全国的に寒暖の差が大きかった
- ・ 生鮮品の相場状況は、青果物において玉ねぎなど一部に高値のものがあったが、野菜総体では概ね安定していた。畜産物では、引き続き国産牛肉が相場高であったほか、国産鶏肉が前年より高値で推移した
- ・ 前年と比べ、日曜日が1日多い曜日廻りで、売上へは良い影響を与えた

## 《 商品動向 》

### ○ 農産

- ・ 相場環境により、玉ねぎ、にんじんなどの土物野菜が好調であった一方、キュウリ、レタスなどのサラダ材料野菜は不調であった
- ・ 春野菜の取り組みでは、豆類やキャベツが好調であった一方、供給量が少なかったアスパラは売上が減少した
- ・ 旬を迎えた筍は、裏年に当る産地が多く、品質、供給量が安定せず大きく売上が落としている
- ・ 国産果実は、いちご、柑橘類が好調であった一方、りんごは好不調が分かれる結果であった
- ・ 輸入果実は、例年より入荷が早かったキウイフルーツが売上が伸びた

### ○ 水産

- ・ 不漁の影響による鮮魚の販売不振が続く一方、堅調な需要により刺身が売上が伸びた。特にマグロの好調が続いている
- ・ 春の旬魚の販売を強化している事例が多く、カツオ、ホタルイカなどが好調であった
- ・ 海藻類の不調が目立ったほか、相場高の影響があった鮭鱒類が売上が減らした

### ○ 畜産

- ・ 各畜種とも概ね好調であったほか、加工肉は売上回復傾向がみられる
- ・ 牛肉は、焼肉用が売上が伸びた。行楽などの需要拡大が寄与したほか、セット商品による単価増の成功事例がみられた
- ・ 豚肉は冷しゃぶ用が順調な動向を示した。気温環境によるところが大きい

### ○ 惣菜

- ・ ニーズが上昇する弁当、丼などの米飯関連の取り組みが多くみられた。一部に、天候環境による行楽・花見需要の減少による影響がみられたが、概ね好調に販売できている
- ・ 季節素材を使った商品が好調であった。特に弁当、和惣菜の成功事例が多い

## ○ 日配・加工食品

- ・ 日配は、前年の反動によるヨーグルトの不調が続いている
- ・ その他では、冷凍食品が好調であった一方、気温環境により麺類などの涼味関連商品が苦戦した
- ・ 加工食品は、米が好調であった一方、気温環境により飲料、ビール類が不調とのコメントが多かった
- ・ ポテトチップスの品薄が報じられた影響による特需があり、スナック菓子が売上を伸ばした
- ・ 前月に引き続き、トマトジュースなどの野菜飲料、甘酒関連商品が好調であった。メディアで取り上げられた影響

## 「春の行楽」の状況について

- ・ 花見対応において、一部に開花時期の遅れや天候によるマイナスの影響があったとのコメントが多かった
- ・ おつまみ関係の提案で、惣菜部門や畜産部門で、やきとりを伸長させている成功事例が多い
- ・ お酒では、チューハイが好調であった一方、ビール類が不調であった

## 「その他カレンダーマーケット」の状況について

- ・ 新生活では朝食提案として、簡便性の高いシリアル、スープを訴求し売上を伸ばした
- ・ お祝いなどのハレの日の提案では、赤飯、刺身、焼肉の取り組みが多く、概ね好調であった

以 上